

編集後記



バックナンバーも
あります!



すみだでものづくりをする方々は、誰もが嬉しそうに自分の仕事を語ってくれます。想いがあるからこそ、より良いものが生まれるのかもしれない。

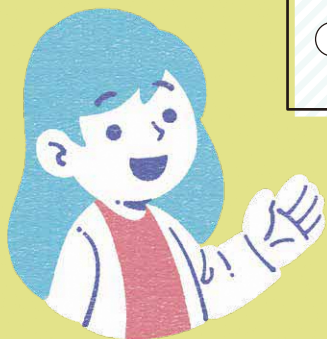
冊子を手にとって、ワクワクした気持ちでものづくりをスタートしてもらえたら。そんな後押しがしたいと願いながら、作成しています。

最新情報はSNSへ!



- ✓ 墨田区の事業者さんの耳より情報
- ✓ ものづくりイベントの開催情報などを発信中です!

ものづくりのまち すみだ 🔍



すみだ

de チャレンジ

vol.2

ものづくりの
一歩目を
踏み出す



お問い合わせ

墨田区産業観光部産業振興課

〒130-8640

東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号

03-5608-1437

2023年3月発行

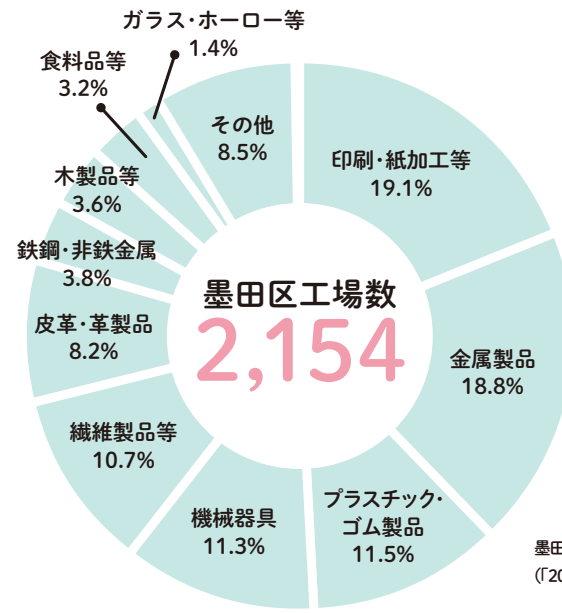
取材・印刷：大東印刷工業（株）
画像提供：掲載企業・関連企業の皆さん



ものづくりのまちで
あなたの日常が、もっと充実

すみだではじめるチャレンジ支援 book

幅広い！ すみだの ものづくり



墨田区における工場数の業種別構成比
 (「2016年経済センサス活動調査」より)

思い描いたものをつくりたいとき、あなたはどうしますか？

頼れる人、頼れる場所を見つけるのは、
あなたの行動次第かもしれません。

この冊子では、探し物のヒントになる事例を
3つご紹介しています。

私たちは、あなたのものづくりを応援しています。

まだ、世の中にないもの
あなたのこだわりのもの

すみだでつくってみませんか？



豆知識

北部(向島あたり)は金属・プラスチック・皮革が多く、
南部(両国あたり)は繊維・印刷が多い。

北部・向島地区

東京スカイツリーの北側

プラスチック製品
((有)チバプラス)

皮革・革製品
((有)T.M.Y's)

南部・両国地区

東京スカイツリーの南側

繊維製品
(久米繊維工業(株))

印刷・紙の加工
((株)東北紙業社)

墨田区は、多種多様な業種が集まっていることに加え、業種の垣根を越えてPR活動やイベントを開催している交流の盛んな地域です。

卒業後に始める

(株)カミカグ 代表取締役 和田 亮佑さん



曲線の美しい段ボールを使用したデザイン家具カミカグの企画から販売までを行っている和田亮佑さん。東京都のアクセラレーションプログラムをきっかけに品川区で法人化しましたが、機械などが置ける物件を探す必要がありました。

きっかけ

きっかけは、気軽に引っ越しできる家具が欲しいと思ったこと

大学のゼミでの「大学生が学生の課題を解決する」という取組で着目したのは、家具は重くて捨て難いという学生時代の7度もの引っ越しの経験です。それを解決出来る新しい家具を作りたいと思い、素材にはダンボールを選びました。環境に配慮した素材であり、設計で強度を確保し、デザインで見た目もおしゃれにすることができるからです。

叶ったこと

すみだにはものづくりのできる施設があった

都内には工作機械を置いて時間の制限もなくものづくりできる物件が少なく、なかなか見つかりませんでした。たまたま、テクネットすみだ内にもものづくりベンチャー用ラボスペースがあることを知り、問い合わせをしてみました。運良く、すぐに空きができました。後で知ったのですが、前に入居していた事業者は大学の先輩だったので、すみだへの縁を強く感じました。

✔ わたしにとってすみだは

『ものづくりの人たちとの出会いで得られる情報の幅が広がる』まちです。

地域と繋がる

すみだ でこんなに地域と繋がれるとは思わなかった

借りている場所は区が運営しているため、担当している産業振興課の担当者に困ったことや分からないことは色々相談に乗ってもらっています。他にも地域の事業者さんからの多くの学びやiU(情報経営イノベーション専門職大学)とのコラボレーションなど、自分たちだけでやるよりも、目指す方向へのスピードが速くなっていると感じます。2月からはクラウドファンディングもスタートしました。



KAMIKAGU The Stool
(1.2tまで耐えられる、ダンボール製のスツール)

墨田区産業振興課からのコメント

「ものづくりベンチャー用ラボスペースは、ものづくりで新しいことを始めたい企業(ベンチャー企業)に、区が安価で転貸している、スペースです。入居には審査がありますが、和田さんが「大学卒業後は、カミカグを立ち上げて頑張っていきたい」とまっすぐな気持ちをプレゼンの中で伝えていたのが印象的でした。入居後は、上手く私たち区職員を頼ってもらい、地域でのイベント「スミファ」などにも参加しています。少しずつ認知度も上がり、ますますの活躍に期待をしています。

(墨田区 産業観光部産業振興課)

※墨田区産業振興課は、ものづくりベンチャー用ラボスペースを管理しています。

(株)カミカグ

墨田区立花5-9-5 テクネットすみだビル2階



美しい、強い、軽い。紙の家具「カミカグ」を提供しています。



ものづくり用ベンチャーラボスペースに置くカuttingプロッター



▲WEB

副業で始める

働く女性が働く女性のために作るカバンのブランド「biz+u」を展開する金島加代子さん。実は企業にお勤めのITコンサルタントです。2015年に副業として女性向けのリュックの企画・販売をしようと決意しました。しかし、ご自身ではリュックを作ることができないので依頼できる工房を探すことになりました。

biz+u 代表 金島 加代子さん



きっかけ

ほしいビジネスリュックが見つからなかったこと

仕事柄、ノートPCや書類をトートバッグに詰め込んで客先に出向く必要があるのですが、機能性とデザインのバランスが良い物に出会えない中で、肩こりや腰痛で困っていました。オーダーメイドで作れば済みそうですが、作るなら量産しなければという勘違いをしてしまい、貯めた50万円を元に自分で気に入ったリュックをある程度の数を作って売ろうと決意したのです。

叶ったこと

すみだには相談も小ロット製造もできる工房があった

カバンづくりの素人でも相談できて、小ロットでも作ってくれる工房をネットで探してみました。その時に見つけたのがレザーラボMEW（(有)丸ヨ片野製鞆所 運営）です。カバンの素人が書いた企画書に職人さんの知恵と知識を加えたサンプルは半年でできました。それから最終サンプルを経て、ブランド名も決まり、まずは20個を販売できるようになりました。

✔ わたしにとってすみだは

『出会うひとみんなが優しく、頑張っていれば助けてくれる』まちです。

軌道に乗れた

すみだを利用してから事業が軌道に乗りました

最初の販売方法としてクラウドファンディングを選択しました。区内の商工会議所が個人の相談でも受け入れてくれたことが大変ありがたかったです。2度の挑戦では応援購入総額が539万円になりました。それからECでの販売を続けていますが、カバンづくりのつながりから、「まちのかばんやさん」の仲間にも入れていただき、ポップアップイベントを定期的開催しています。



松屋銀座でのポップアップ
「まちのかばんやさん.smd」(2023年3月実施)

丸ヨ片野製鞆所からのコメント

サンプル品を納品してから連絡が途絶えたので、もう来ないかもしれないと思っていましたが、その間に、使用感を検証してくれていました。改善要望は、鞆づくり初心者だからこその視点で苦労もありましたが、試行錯誤を繰り返して、一緒につくり上げることができました。金島さんのクラウドファンディングを利用した資金集めや販売方法は学びも多く、私たちに新しい刺激を与えてくれています。

（(有)丸ヨ片野製鞆所）

※レザーラボMEWを運営している丸ヨ片野製鞆所は、革鞆・小物、革アクセサリーなどの企画・製造を行っています。



biz+u リュック
（国産レザーを使用し、工房で一つずつ丁寧に仕上げている）

biz+u

f biz+u

「働く女性に身軽さを」をコンセプトに毎日持ち歩きたくなるビジネスリュックなどを作っています。



▲WEB

社内から始める

(株)ストリーモ 森庸太郎さん



電動マイクロモビリティの開発・製造を行っている森庸太郎さんは本田技研工業(株)(以下、ホンダ)にて二輪車などの開発や経営企画を行っていました。そんな中、社内のベンチャー制度に応募し、採用されたのは自宅のガレージで作った3輪の電動モビリティでした。精度の高い試作車をどうやって製作するかが最初の課題でした。

きっかけ

きっかけは、乗り物での移動のストレスをなくしたいと思ったこと

ある時、電動キックボードに乗ってみたところ、ゆっくり走ると不安定だったため、誰でも乗れる乗り物ではありませんでした。理想の乗り物とは誰もが安全に自由な移動を可能とすることだと思いました。そして、ホンダで自立する二輪車の開発に携わっていた経験と技術を使えば、歩く速度でも安定したモビリティを作れると確信しました。

叶ったこと

すみだには、目指す方向への最短ルートがあった

ベンチャーとして自宅で起業をしました。しかし、自宅での加工・製作では限界があるため、図面から試作車のための部品をつくっていただけの会社を探しました。そんな中で投資家の方から墨田区内にある浜野製作所を紹介され、この部品製作を快く受け入れてもらいました。ここから一気に試作がスタートします。現在は同社が運営するGarage Sumida(ガレージスマダ)に入居しています。

✔ わたしにとってすみだは

『みなさん世話好きで、つながりが深くて濃い』まちです。

解決できた

すみだは困りごとは何んでも相談できるので心強い

量産に向けた試作品の組み立て場所などの困りごとを浜野製作所に相談したところ、同社が産業振興課(墨田区)と協業して実施する区のハードウェアスタートアップ拠点「東墨田ラボ」を利用することができました。それ以降は浜野製作所をはじめ、区の担当者までもが、相談に乗ってくれて、一緒に解決策を模索してくれました。活動しやすいように、地域での実証実験も叶い、近隣の方々との接点も生まれました。



東墨田ラボ内で作業する森さん

浜野製作所からのコメント

安定性があり乗る人が安心できる、日本発の電動マイクロモビリティを世界中に広めることに挑戦するストリーモさんの想いに共感し、当社のもづくり技術・経験、墨田区の開発・実証実験施設の活用、販売チャネルを持つ企業の紹介など彼らの事業成長を加速させる様々な支援サービスを提供しています。移動の社会課題解決と可能性を広げる製品の市場投入に向けて、これからも一緒にワクワクしながら伴走サポートしていきます。(株)浜野製作所/Garage Sumida
※(株)浜野製作所は、Garage Sumida(ガレージスマダ)の運営のほか、墨田区とともに東墨田ラボの運営に携わっています。

(株)ストリーモ

墨田区八広 4-36-21 Garage Sumida



ユーザーの「安心感」を大前提に新たな移動体験を提供します。



▲WEB



ストリーモに乗る森さん

ものづくりの相談をしてみたい

✓ 新ものづくり創出拠点

「こんなものをつくりたい」などといったアイデアを持ち込んで、かたちに近づけてみませんか？

職人の技術や経験をかけ合わせることで、今までになかった製品や・サービスを、あなたが生み出せるかもしれません。

※印刷・金属・繊維・革など様々な業種による拠点が開設されています。

biz+u (P05-06) も活用しているよ！



NEW

ものづくり事業者とつながりたい

✓ 新・産業共創施設

(2023年10月オープン予定)

社会課題に取り組むスタートアップ企業とつながることで、製品の改良や新しい商品・サービスの開発を促進する“共創”の場です。

所在地：
墨田区錦糸4丁目17-1 ヒューリック錦糸町コラボソニー4階

✓ すみだビジネスサポートセンター

創業・経営に関する疑問、ものづくりのお困りごとなどに経験豊富な産業コーディネーターがお応えします。

問い合わせ

以下のいずれかの方法でご連絡ください

① 電話番号
03-5608-6360

② ご相談予約フォーム

▶ 右記QRコードよりお申し込みください



広い作業スペースを使いたい

✓ ものづくりベンチャー用ラボスペース

区内の工場アパートの一部を借り上げて、安価に転貸することで、新たなものづくりに挑戦する方々をサポートします。

所在地：
墨田区立花五丁目9-5
テクネットすみだビル内

機力ミカゲ(P03-04)も入居しているよ！

✓ 東墨田ラボ

特に、ハードウェア製品等の開発を行いたいスタートアップ企業の方の開発から製造、そして実証実験までをサポートします。

所在地：
墨田区東墨田二丁目12-9
東墨田会館1階

機ストーリーモ(P07-08)も利用しているよ！

墨田区の企業を知りたい

✓ 企業ガイドでの検索

墨田区に、どんな会社があるかを
知ることができるよ！

「企業ガイド」
WEB ページは
こちらから



01 繊維業を知りたい場合

「大分類を選ぶ」で「製造業」を選択



02 「中分類」で「繊維工業」を選択し、地域やキーワードを入れて検索

もっと詳しく知りたい

✓ 「PICK UP企業」での取材記事

取扱製品だけでなく、働く人の様子やどんなことに力を入れているかを詳しく紹介しています。

